

令和2年6月23日

6月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木県では皆伐の一部見合わせなどが出ているが、間伐材を中心に原木生産は順調である。スギ小径材、柱材は動いているが、スギ中目材、ヒノキは全般に動きが悪く、共販後の引取も遅い状態である。入札枚数が少なく、1枚札、無入札等も見られるが、元落材は少ない。製品市況の先行き不安から大型製材工場の買い気配が弱く、スギ柱材・中目、ヒノキ柱材が小幅安となっている。

群馬県でも原木出材は順調で集荷しやすいが、入梅等のため、集荷を手控えている。原木在庫は最低限に絞っており、工場の操業も通常の7割程度に落としている。受注は比較的順調だが、ロットが細かい。材木店、製品市場、建築関係への販売は激減しているが、ホームセンター向けは比較的順調である。スギ、ヒノキの柱・間柱など大量生産の品目は荷余り状態で先行きは不透明。製品価格は低位安定で推移している。

2. 米材

カナダ私有林最大手のMOSAIC社の伐採は再開されていないが、昨年造材分の輸出公示(Advertise)が3/25から毎週行われ、5月に入り対日向けオフアールが出始めた。現状一過性の供給で港頭在庫の払底状態に変化はない。米国では新型コロナウイルスによるロックダウン中に活発な自宅改修が見られ、予想外の製品需要の発生や現場再開による製材品の需要増で、製材品市況は5月に入り、上げ足を速めている。それに伴って原木需要も回復し、価格も底打ち反転となっている。6月積みIS級並の輸出価格(推定)は前月と同じく\$810になった模様。ランダムレンジス紙発表の15種平均価格(5/29)は\$441/Mで5月頭に比べ22.2%アップ。住宅着工数は激減しているが、工場閉鎖による生産量が落ちているため、現地価格は値上がり基調にある。

4月の原木入荷量は127千 m^3 と今年最低、1~4月累計で663千 m^3 (前年同期比25%減)。カナダからの入荷が前年同期比で約70%減となった。出荷量は155千 m^3 、1~4月累計で658千 m^3 (同24%減)。在庫量は減少し183千 m^3 、在庫率は1.1ヵ月。国内米マツ製材工場の荷動きは徐々に落ちており、最大手が5/21に値下げを発表した。東京木材埠頭の5月入荷は25千 m^3 (前月比9.1%増)、出荷は20千 m^3 (同14.4%減)、在庫は35千 m^3 (同17.7%増)。6

月から梅雨に入り、荷動きは更に低調。入荷は予想した程の遅れはなく、在庫は過多の状況。

3. 南洋材

サラワク州ではイスラム正月とガワイ休暇の大型連休もあり原木生産は低調。主要輸出先であるインドの原木買付が不調のため市場は閑散としている。PNG ではロックダウン継続中で船積みは閑散。ラワン合板等製造の大新合板が来年3月末で操業停止を発表した。6月予想の原木入荷、出荷はそれぞれ11千 m^3 、在庫量は17千 m^3 、製材品入荷は35千 m^3 。中国ではフリー板の生産が3月から再開され、4月入荷はほぼ倍増となった。

4. 北洋材

シベリアでも新型コロナウイルス感染症のクラスター発生の情報があるが、対日主力工場は操業を継続している。しかし3月以降、新規注文はほとんど無く、日本側の新規注文待ちの状況。アカマツ原板は先行き不安から日本メーカーの買い気は薄い。アカマツ完成品は大量入荷とコロナ騒動で日本側から新規注文が出せない状況にある。低級品もコロナによる工事現場ストップでサンギの荷動きも急速に低下している。流通筋は大量入荷により在庫を積み増している。国産完成品はDIYからの注文が活発だが、先行き大きな不安がある。6月予想の原木入荷・出荷量とも3千 m^3 、在庫量は15千 m^3 。製品は入荷量(東京+川崎)25千 m^3 、出荷量22千 m^3 、在庫量73千 m^3 で、在庫量は通常(約35千 m^3)に比べ大幅に増加する見込み。

5. 合板

合板用原木の国産材はメーカーの減産による買付減少で価格は弱含み。ロシア材はカラマツが出材されているが、日本側は入荷を減らしており、価格は横ばい。米材は大きな変化はなく価格は横ばい。南洋材は伐採が再開され始めており、今のところ大きな問題は見られない。

4月の国内合板生産量は24.2万 m^3 、うち針葉樹合板は23.2万 m^3 、出荷量は23.3万 m^3 で、在庫量は17.4万 m^3 、うち構造用合板の在庫は14.5万 m^3 となった。針葉樹合板は強い停滞感が続いており、価格は弱含み傾向にある。6月も各メーカーは減産体制を継続。輸入合板は在庫が溜まっており、荷動きは非常に悪い状態が続いており、価格は今のところ横ばい。4月合板輸入量は23.1万 m^3 で、インドネシア、マレーシア産とも平均的な入荷となった。中国産の入荷も回復しており、落ち着いた状況にある。インドネシアの各工場は一定の生産量を維持しており、原木供給量は安定。サラワク州は通常時と同じ従

業員、サバ州は通常の 50%の従業員での操業である。原木在庫は局地的に不安定さはあるものの、受注が少なく今のところ落ち着いている。

6. 構造用集成材

5月のラミナ入港は適正であるが、今後は、遅延したコンテナの入港が始まり、入港量の増加が予測される。現地では新型コロナウイルスは収束に向かっているが、第2波の懸念もあり、産地工場の生産調整が見込まれる。第2・四半期交渉でRW・WWラミナは値上げとなった。6月から第3・四半期交渉が始まるが、生産調整や世界的な需要減等の影響で横ばいと予測される。輸入集成材の第3・四半期交渉では提示量の縮小が見込まれ、また入荷遅れの製品も流通し始め、輸入集成材のタイト感は無くなっている。4月、5月は住宅会社の受注が大幅に減少しているため、8月以降、この影響が出てくるだろう。

7. 木材チップ

新型コロナウイルスの影響でA・B材が一部C・D材向けに流れており、原木在庫は潤沢である。針葉樹原木の価格は値下げ状況にある。解体材は物件・発生量とも減少。製紙用チップは製紙会社の操短で、特にNCの減少幅が大きい。各社集荷の中心は安価な解体系のピンチップ(破砕チップ)にシフトしており、タイト感が強い。燃料用チップは大手の大型定修の時期にあたり受け入れ制限で一息ついているが、タイト感は非常に強い。北米でのチップ発生量は減少しているが、それ以上に需要の減少幅が大きく小幅変動の模様。

8. 市売問屋

新型コロナウイルス感染症の対応で4月、5月は休市になったが、6月からはコロナを警戒しながらの市を実施する方向にある。材木店では売上半減のため持続化給付金の手続きするところが増えている。6月にはゼネコンの仕事も再開するので、現場は動き出すものと見られる。

9. 小売

新型コロナウイルス感染症の影響で市が開かれず、荷動きは低調である。5月までは大きな変動はなかったが、これからが本番で先行きは不透明である。市場、小売業ではテレワークへの移行が難しく、受発注がスムーズに行えないなど今後の課題が浮き彫りになった。スギでは貫、胴縁が品不足、ヒノキ構造材はやや出荷量が減っている。米ツガ現地挽の入荷が再開されたが、今後取引先の評価がどうなるかは不透明。米マツ、WW製品は需給バランスがとれており価格は横ばい。キッチンやユニットバスは平常納期に戻っている。リフォーム工事は堅調だが、施主によっては現場に職人が出入りするのを嫌がるとの声も聞かれ、工事の延期、長期化が懸念される。

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	↘	↘	↗
北洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→	↘	↗
南洋材	丸太	↘	→	↘
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記の様に示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸 入 量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	→	→	→

3. 価格動向

樹材種	形 状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	↘
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	↘
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	↘
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	↗
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ間柱 (KD) 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×3.65m	→
			ヒノキ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
ヒノキ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→			
ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→			
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	→
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ コースト	↘
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角 (KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↘
			SPF 2×4 J-Grade R/L	→
			米ヒバ土台角 (GR) Std&Btr 4・13/16” 13’	→
米マツ平角 (KD) 特等 10.5×24.0×4m	→			
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	↗
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品	産地価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
		東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	↗
		同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→	
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ (KD) 30×40上級	↘
			アカマツ (KD) 16×40上級	↘
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	→
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↘